

『アイアムジャパニーズサムライガール』

滋賀県

五個荘洗心館

小学6年生

笠松 茉莉愛

武士は強くてカッコいい人。

私はそんな強くてカッコいい人になりたくて剣道を始めました。しかし六年間剣道を続けているうちに、強くてカッコいいというのは剣の技術だけではないということに気付いたのです。どんなにつらいけい古でも強い精神と自分自身が強くなりたいというかたい気持ちがあればたえることができるのです。

そんな中で私が人として本当に大切にしていかななくてはいけないことは、礼だと思えます。礼はいさつをするということだけではなく、相手のことを尊敬し、感謝する気持ちがあつて初めて本当の礼だと思えます。

剣道のけい古の時に先生が必ず、『剣道は礼に始まり礼で終わる』と言われます。それはただ正座をしてもく想をして、頭を下げるということではなく、今日このけい古が出来ることに感謝をする。教えて下さっている先生に感謝をする。けい古に連れて来てもらう親に感謝をする。頭やうでを竹刀でたたかせてくれる仲間に感謝をする。そういう気持ちの礼なのではないかと私は考えるようになりました。

しかし、この感謝の気持ちは剣道だけのことではないと思うのです。私が毎日生活している中で感謝しなくてはいけない場面は本当にたくさんあるからです。もちろん家族、友達、おいしいものを食べられるのは、野菜やお肉、魚などを育ててくれている人がいるから、その人たちにも感謝しないといけないと思えます。そう考えるとご飯を食べる前にいただきますと手を合わせることも当然の感謝の気持ちを表す行動なのだとわかります。

そんな中、私は一冊の本と出会いました。新渡戸稲造の「武士道」です。この本は難しすぎて何度読んでもちゃんと理解することができませんが、その本の中に出て来る「武士道はその表徴たる桜花と同じく、日本の土地に固有の花である」という言葉がとても気になりました。この部分を何度も読んでみたりこの本をすすめてくれた母に聞いてみたりしているうちに私なりになんとなく理解することができたのではないかと思います。

桜の花は日本の国花です。だから日本中に桜の花がさいていることは当たり前なこと外国の人も絶対に知っています。日本人がしっかりと頭を下げて感謝の気持ちを相手に伝えるという事も外国の人は良く知っています。そしてそれはとても美しい行動だとも言われています。桜の花と礼をすることの共通点はそこにあると思えます。

礼をするという事。それは桜の花がさいているのと同じように当たり前のことなのかもしれません。しかし、その行動が当たり前でできること、そうしなくてはいけないと思うことなく出来ること、それが本当にかっこいい人間なのだと思います。そしてそれは、相手を尊敬し、感謝する気持ちがないとできない行動だと思います。相手に自分の気持ちを素直に伝えるということはとてもはずかしいし、勇気があることです。でもその行動が当たり前でできれば、心も強くなるし、自分にも自信がついて強くてカッコいい、素敵なお人になれるのではないのでしょうか。

私はまだまだ剣の技術も心も未熟です。でも、少しでも強い心を持つ武士に近づけるように日々けい古をし、たくさんの方を学び多くの方と交流をし、たくさんの方のいい所を吸収していけるように努力していきたいと思っています。

アイアムジャパニーズサムライガール。

いつか自分のあこがれの人のようになれると信じて…